（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・性別・年齢・障害・国籍などで差別しない体制は確立している。 【予定】「出身」など、「就業規則」に規定の無い条項があるので、精査し、充足を図る。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメント防止体制では、「コミュニュケーション記録」として社員が、記名無記名を問わず社長閲覧専用のBOXに投函できる体制を取っている。 【予定】「職場いきいきアドバイスカンパニー」等の認証取得					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・就業規則に沿った労働時間の厳守を実施している。 また、協力会社においても労働時間の短縮を指導している。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現在は外国人労働者の就労は無いが、弊社では外国人労働者の雇用実績を持ち、帰国した元従業者との交流が続いている。こうした交流で得た情報により宗教上の食事制限や生活習慣の違いを学び、全社員で共有している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社内安全教育の一例として、重機、ダンプ車等に乗らない作業者には、実際に運転席に座り、運転席からの「死角」を確認する。 他の機械についても、動作、停止に掛かる時間、機動範囲などを実際に体験するなどの社内安全講習を定期的に実施している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに対する計画方針を策定している。 →「メンタルに係る休養」として、特別な診断書の提示が無くても、当人の希望で「休養日」を取得できるよう配慮している。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・障害者(身体障害者等4級)雇用実績のほか、女性、外国人についても積極的に採用募集している。 ・高齢者（当社規定65歳以上）についても、経験、資格、能力に応じ優先的に採用している。（弊社就業規則に「定年」を設定していない）					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・技術者検定試験・能力検定試験（重機操縦士）又はこれらの講習に該当するものは、全て会社奨励として費用を会社負担としている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・技能、技術が同等であれば、パート、臨時、非正規を問わず原則同一賃金としている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・弊社では「高齢従業者」も多く就労しているため、企業規定での健康診断を基本とし、従業者個別事由による受診も有給休暇としている。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・産業廃棄物処理許可業者（2020028123）として、自社、他社を含めて適正な「産業廃棄物」処理を行い、毎年6月までに「地域振興局」への報告書を滞りなく行っている。 また、これらの報告チェックについても、社内記録として保存している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・エコアクション21認証取得【0008098】 活動記録として把握、WEB上に公開している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・エコアクション21認証取得【0008098】 活動記録として把握、WEB上に公開している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・エコアクション21認証取得【0008098】 活動記録として把握、WEB上に公開している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・エコアクション21認証取得【0008098】 活動の一環として把握している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・長野県産業廃棄物3R実践協定（31－201009）を締結し活動している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・エコアクション21認証取得【0008098】 活動記録として把握、WEB上に公開している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・エコアクション21認証取得【0008098】2012/3/19取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・エコアクション21の「活動レポート」としてWEB公開している。 この「活動レポート」は印刷物として、第三者に配布できる準備をしている。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・日田太陽光発電所（設備ID：AA78610C20） ・北川太陽光発電所（設備ID：AA78611C20） を自社運営している。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】水力発電に関する自社運営について研究する。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・「社訓」中に「適正な利潤」とあり、この意は「会社、従業員」を及び サプライヤーチェーンを含め、汚職、贈収賄を排除する意図がある。 月に一度「全社朝礼」では、これら社訓を全員で唱和している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・「社訓」中に「適正な利潤」とあり、この意は「会社、従業員」を及び サプライヤーチェーンを含め、あらゆる不正競争を排除する意図がある。 月に一度「全社朝礼」では、これら社訓を全員で唱和している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・社内及び事業パートナーから得た情報、データはイントラネットから独立 したパソコンで管理、保存している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・社内文書管理規定により「個人情報」を適切に管理している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・事業内容、取引に紛争鉱物の取扱は無いが、3TG鉱物及びその他「紛争鉱物」にも 十分留意し、ステークスホルダーを含めた調達方法を策定する。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・不当要求防止責任者登録証を長野県警察署と締結。 ・サプライヤチェーン、協力業者を含め定期的な対話を行い倫理面での 認識を共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・中間処理場での「再生砕石」製造に当たり、年1回、第三者機関の 法定検査と公共機関の検定を受け販売している。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・弊社中間処理工場の「バイオマスチップ（木質燃料）」については 「認定工場」としてその品質を保証している。 ・工事事業部では、設計、積算、工事着手前会議などで段階を踏み ながら「VE」を提案できる体制を構築している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・中間処理場では「コンクリートがら」から「再生砕石」を製造し、年1回 の規定検査と公共機関の検定を受け販売している。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・弊社が考え行動する社会課題は「高齢化」対策です。 そのため弊社では「定年」制度を設けず、技能、技術を持つ高齢者を 積極的に採用し働いて頂いています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・エコアクション21認証取得【0008098】 活動の一環として把握し、活動レポートとしてWEB公開している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・日本赤十字社（金色有功章） ・日本ユニセフ寄付 ・長野県立こども病院ドクターカーレンジャー隊員 ・佐久市消防団協力事業所登録				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・発電利用の木質バイオマス証明事業者認定（JWRA-BF0035） ・未利用材、伐採木の木質バイオマス証明事業所認定を受け、バイオマス発電事業者（FIT）へ納入している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・社内文書の公示、及び社訓を月2回全社員で唱和している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内文書の公示により全社員が把握している ・年4回（3ヶ月/1回）チェック表による記録を残している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・社内文書規定により、各部所、部所長の責任体制が整備されている																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・自社掲示板に「土木・建築工事の受注状況」を公開し、工事概要書を作成し、いつでも「開示」出来るよう準備している。 ・また、工事開始前には発注者、近隣住民に直接挨拶をし、工事内容及び騒音、振動等に関する事前説明を行っている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・自社事業所に関する「ハザードマップ」を社内に公示し、事業所毎の「危険箇所」及び「対策」を社員全員で把握できるようにしている。 【予定】会社内での伝達方法をよりスムーズにおこなうため、「ICT」活用を策定する。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・災害、除雪などの緊急対応については地域同業者と、迅速な対応が出来るようネットワークを構築している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事故・災害における事業継続計画について立案する。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・社内経営改善委員会を設置し、現社長より若手マネジメントの育成を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）